

## 令和7（2025）年度 資源評価調査報告書（拡大種）

種名	カイワリ	対象水域	太平洋中・南部
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、千葉県水産総合研究センター、神奈川県水産技術センター、静岡県水産・海洋技術研究所、徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究課、高知県水産試験場	協力機関名	

## 1. 調査の概要

太平洋中・南部沖合底びき網漁業漁獲成績報告書から漁場別漁獲統計を利用して1973年以降の漁獲量や資源量指標値に関する情報を収集し、漁獲動向、資源動向を評価した。各県は漁獲統計調査を実施している。千葉県は2004年以降、神奈川県は2015年以降、徳島県は2005年以降、高知県は2010年以降の漁法別漁獲量を、静岡県は2001年以降の日別定置網漁獲量を、それぞれ収集している。

## 2. 漁業の概要

沖合底びき網漁業による漁獲が主体であり、その中では太平洋南部2そうびきの漁獲が多い。太平洋南部2そうびきによる本種の漁獲量は、1973年の87.4トンから1995年の280トンまでは変動しながら増加傾向だったが、1996年以降は減少傾向で、2024年は7.5トンであった（図1）。太平洋南部2そうびきにおける本種のCPUE（1網あたり漁獲量）は1973～2011年まで増加傾向だったが、2012年以降、減少傾向である（図2）。

## 3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：北海道～九州南岸の日本海・東シナ海沿岸、伊豆-小笠原諸島、北海道～九州南岸の太平洋沿岸、瀬戸内海、朝鮮半島南岸、渤海、黄海、台湾、南シナ海沿岸、海南島、南アフリカ、ソマリア沖、オマーン湾、オーストラリア北西岸、ハワイ諸島、イースター島に分布する（瀬能 2013）。
- (2) 年齢・成長：情報収集中。
- (3) 成熟・産卵：情報収集中。
- (4) 被捕食関係：情報収集中。

## 4. 資源状態

本資源の主要漁業である太平洋南部沖合底びき網（2 そうびき）における CPUE（表1）を資源量指標値とし、資源水準は 1973 年以降の最大値～0 の三等分を水準の区分として、低位、動向は直近 5 年間（2020～2024 年）の推移から減少と判断した。

5. その他

特になし。

6. 引用文献

瀬能 宏 (2013) カイワリ. 「日本海産魚類検索 全種の同定 第三版」中坊徹次編, 東海大学出版会, 秦野, 894.



図1. 太平洋南部沖合底びき網（2 そうびき）漁業によるカイワリの漁獲量

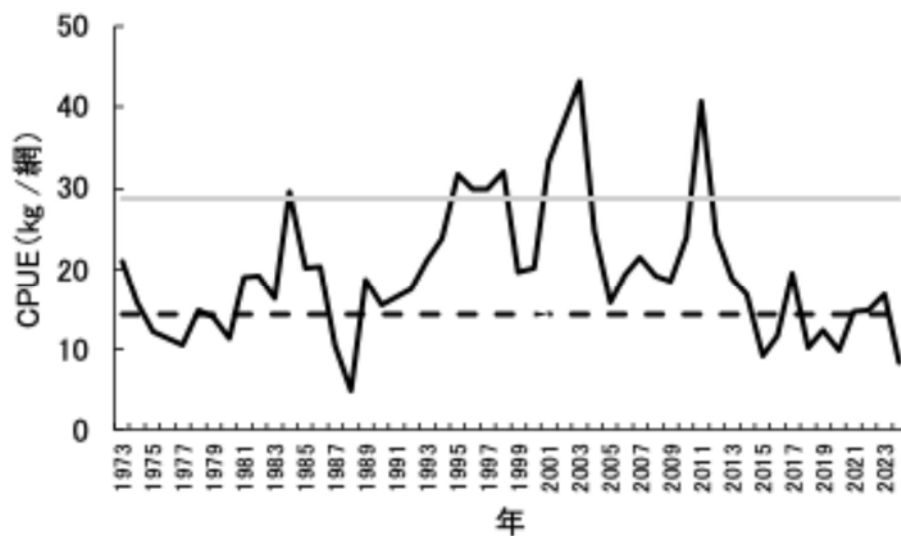


図2. 太平洋南部沖合底びき網（2 そうびき）漁業におけるカイワリの CPUE (kg/網)  
破線は低位・中位、灰色の実線は中位と高位の境界。

表 1. 太平洋南部沖合底びき網（2 そうびき）漁業におけるカイワリの CPUE (kg/網)

年	CPUE (kg/網)	年	CPUE (kg/網)	年	CPUE (kg/網)
1973	21.0	1992	17.5	2011	40.7
1974	15.9	1993	21.1	2012	24.2
1975	12.2	1994	23.8	2013	18.8
1976	11.3	1995	31.7	2014	16.9
1977	10.6	1996	29.9	2015	9.2
1978	14.9	1997	29.9	2016	11.6
1979	14.0	1998	32.1	2017	19.5
1980	11.3	1999	19.6	2018	10.2
1981	18.9	2000	20.1	2019	12.4
1982	19.2	2001	33.4	2020	9.9
1983	16.4	2002	38.1	2021	14.7
1984	29.6	2003	43.2	2022	14.8
1985	20.1	2004	24.8	2023	16.8
1986	20.4	2005	15.8	2024	8.4
1987	10.5	2006	19.4		
1988	4.8	2007	21.5		
1989	18.6	2008	19.2		
1990	15.5	2009	18.4		
1991	16.4	2010	23.9		